

「東南アジアと南方軍政」

日本貿易振興機構本部ビジネスライブラリー

アジア研究図書館サテライト

2006年12月7日(木)

倉沢愛子(慶應義塾大学)

I. 岸幸一氏の経歴と業績

- 1938年3月 早稲田大学文学部史学科卒
- 1938年9月 東亜研究所入所
- 1942年6月 南西方面海軍民政府囑託
- 1943年4月 東亜研究所副調査員
- 1946年3月 東亜研究所解散により退職
- 1946年7月 復員
- 1948年4月 国立国会図書館調査員
- 1958年 『インドネシアにおける日本軍政の研究』刊行
- 1959年6月 アジア経済研究所図書資料部長として入所
- 1961年8月 アジア経済研究所調査研究第二部長
- 1969年11月 死去

東亜研究所

1938年企画院の下で設立

近衛文麿が総裁に

研究員 約200人

出版物

・単行本 77冊(1939-1943)

うち翻訳が 22冊

・『東亜研究所報』二ヶ月に一度 30号まで〔1939年から1945年2月まで〕

南西方面海軍民政府に囑託として勤務 (インドネシアへ)

- ・ 研究者を占領地へ派遣 軍政監部調査室へ配属
- ・ 満鉄調査部 (Malay, Sumatra, Burma)
- ・ 東亜研究所 (Java 海軍地区)
- ・ 東京商科大学(Singapore)
- ・ 三菱経済研究所(Philippines)
- ・ 太平洋協会 (Borneo)

II. 南方軍政とりわけインドネシアの軍政

東南アジアにおける日本の支配 (1941—1945)

基本的な目的 : 重要国防資源の獲得→経済的収奪
大東亜新秩序の形成

支配の形態

軍政: マラヤ、シンガポール、英領ボルネオ、インドネシア、
フィリピン(1943年10月に独立)、ビルマ(1943年7月に独立)、
日仏協同統治: ヴェトナム、ラオス、カンボジア
同盟関係: タイ

占領地によって異なる進展と異なる影響

各地域の歴史的・文化的背景の違い。日本にとっての重要性の違い。資源の有無。
戦場になったか否か。途中で独立したか否か?

インドネシア分割占領

占領地軍政実施に関する陸海軍中央協定 (1941.11.26)による

(1) ジャワ

- ・ 陸軍第16軍
- ・ ジャカルタに司令部と軍政監部
- ・ (2) スマトラ
- ・ 陸軍第25軍
- ・ ブキッティンギに司令部と軍政監部
- ・ 1943年4月にマラヤ軍政から分離
- ・ (3) 蘭領ボルネオ(カリマンタン)、セレベス(スラウェシ)、小スンダ列島、
モルッカ群島、ニューギニア、バリ島など
- ・ マカッサルに南西方面海軍民政府

インドネシア統治の基本

- ・オランダ植民地政権打倒。
- ・オランダ人を収容所に隔離。
- ・基本的に既存の統治機構活用
- ・インドネシア人民族主義者（スカルノら）の協力獲得
- ・軍票の使用
- ・東亜の共通語としての日本語の使用
- ・永久確保の方針 → 将来の独立許容約束（1944年9月）

オランダの植民地統治との相違点

村落（稲作）社会への関心と介入（食糧と労働力の確保のため）

オランダの植民地統治はプランテーション農業部門への関心が中心

稲作社会への関心は二義的

グラスルーツの住民に対する直接把握（住民の総動員体制確立）

オランダの植民地統治は間接統治

競争原理の導入と官吏登用に際しての慣習の破壊（出自によらず親日的人物の登用）

オランダ時代は「原住民」の身分を固定化し出自を重視

「動員」と「統制」のための施策

- (1) 住民教化のための教育重視
- (2) 広範なメディアを駆使した宣撫工作
- (3) 村落共同体への干渉
 - 村落首長の任免に関与
 - 隣保組織の導入(末端の住民統制のため)
- (4) 住民の組織化（婦人会、青年団、警防団）
- (5) 支配階層への干渉

日本軍政の残した社会的インパクト

1.社会的流動性の高まり

a.身分社会崩壊への兆し（教育、競争原理、官吏登用制度崩壊のため）

b.農村住民の生活圏の拡大（労働力の移動、組織活動での動員）

2.住民統制のメカニズムの残存

III. 南方軍政資料の所蔵状況

防衛庁防衛研究所戦史部

「軍政資料」126件

(『南方の軍政』巻末にリスト)

西嶋コレクション [早稲田大学]

オランダ戦争資料研究所 (Nederlandse Institute voor Oorlogsdokumentasi NIOD)

オランダ、ハーグ市

オランダ国立文書館 (Algemeen Rijksarchief ARA)

オランダ、ハーグ市

オランダ国防省文書館 (Archief van Ministrie van Defensie)

オランダ、ハーグ市

オランダ陸軍戦史部 (Seksie Krijgsgeschiedenis)

オランダ、ハーグ市

オランダ海軍戦史部 (Maritieme Historie)

オランダ、ハーグ市

イギリス公文書館 (Public Record Office)

イギリス、ロンドン市

コーネル大学オーリン・ライブラリー、エコールス・コレクション

ニューヨーク州イサカ市

インドネシア国立文書館 (Arsip Nasional RI)

ジャカルタ市

復刻事業

龍溪書舎の「南方軍政関係資料」シリーズ

インドネシアの 軍政担当地域

